

事業番号	02 06 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課	
		実施期間	S42～	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加					
	健康長寿日本一を維持					
総合的に展開する重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保			3-9 本州中央部広域交流圏の形成		
	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり					

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	<p>県民の移動と地域間交流を支える鉄道は、県内交通の幹線として位置付けられているが、沿線人口の減少・少子高齢化などの影響による輸送人員の減少に加え、施設・設備の老朽化への対応、駅舎のバリアフリー化など新たな要請への対応が求められるなど、事業者の経営環境は厳しさを増しており、事業者の努力のみで、これら課題に対応しながら県内鉄道路線を維持することは困難となっている。</p> <p>北陸新幹線は1997年10月に高崎・長野間が、2015年3月に長野・金沢間が開業した。また、2012年に着工された金沢・敦賀間については、2022年度末開業を目指して整備が進められている。残る敦賀・大阪間については、2017年3月に全区間のルートが決定されたところであり、引き続き、金沢以西の全線を早期に整備する必要がある。</p>
	<p>【目指す姿】</p> <p>鉄道の利用促進や活性化への取組に参画するとともに、鉄道事業者が行う安全性向上対策や駅舎のバリアフリー化のための設備整備等に対する支援を通じて、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道の利用促進、安全性・サービス向上を図り、鉄道の維持と住民の足を守る。</p> <p>北陸新幹線を大阪までフル規格で早期に整備し、県民の利便性向上を図る。</p>
	<p>【実施内容】</p> <p>鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助、鉄道駅における段差の解消のために必要なエレベーター等の設置に対する補助、北陸新幹線建設促進に係る要請活動</p>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							事業コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況		前年度繰越	14,664	254,507
1	県内鉄道キロの維持	788.5km	788.5km	→	788.5km	→	788.5km	達成	439,483	551,721
2	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	0件	0件	→	0件	→	0件	達成	454,147	806,228
3	エレベーター等設置駅数	22駅	22駅	→	23駅	↗	25駅	未達成	198,087	168,217
4									157,748	798,738
								決算額(B)	157,748	798,738
								職員数(人)	3.0	3.0

成果指標設定理由	<p>1. 県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため、鉄道キロの維持を成果指標に設定</p> <p>2. 県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため、重大事故の発生数を成果指標に設定</p> <p>3. 2020年度までに1日の利用者3,000人以上の駅についてはバリアフリー設備を設置するという国の基本方針を達成するため、エレベーター等の設置駅数を成果指標に設定</p>
----------	---

達成状況の分析	<p>1. 沿線住民、市町村、鉄道事業者と協働して利用促進や利便性向上に取り組んでおり、公共交通の基幹である鉄道路線のネットワークは引き続き維持されている。</p> <p>2. 鉄道事業者が実施する設備整備への支援を行い、鉄道設備に起因する重大事故は発生しなかった。</p> <p>3. 目標値は達成できなかったが、対象となる残り2駅においてエレベーター等が設置される見込みとなった。</p>
---------	--

主な取組	<p>✓安全・安定輸送の確保のために必要な設備整備や維持修繕を24件支援 (長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株))</p>	 
	<p>✓沿線自治体等で構成する同盟会等13団体と協働し、利用促進活動や要望活動を実施</p>	 

えちごトキめき鉄道「雪雪花」大糸線乗り入れ

国交大臣への要望活動(北陸新幹線建設促進同盟会)

しなの鉄道(株)の新型車両(左) 長野電鉄(株)の車両更新(右)

## 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"><li>各鉄道路線の利用率、利便性の向上及び県内鉄道路線の維持</li><li>施設の老朽化対策や駅のバリアフリー化による安全・安定輸送、誰もが生活に必要な移動ができる交通手段の確保</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>同盟会を始めとした各沿線活性化組織と共に協働して、利用促進を図り、県内鉄道路線の維持に努める。</li><li>鉄道事業者の輸送サービス安全性確保、駅舎バリアフリー化の取り組みに対し、車両更新や設備整備の支援を行う。</li></ul>

事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	-----------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	鉄道振興対策事業費	103,058 千円	653,205 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	地域鉄道安全性向上事業費補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を実施 補助対象事業者：長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、 補助額：609,893千円
2	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅における段差解消のため、必要なエレベーターの設置に対して、補助を実施 補助対象事業者：しなの鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株) 補助額：42,712千円
3	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	・要望活動（10月） ・啓発、広報、利用促進活動
4	大糸線活性化協議会負担金	負担金	・啓発、広報、利用促進活動
5	中央東線高速化促進広域期成同盟会負担金	負担金	・要望活動（10月） ・啓発、広報、利用促進活動

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
2	北陸新幹線建設促進費	1,800 千円	1,800 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	・建設促進等に係る国等へ要請活動（春、秋） ・建設促進に関する調査研究及び広報等

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
3	しなの鉄道設備投資資金等借入金損失補償	債務負担行為（元金1,140,000千円及びこれに対する利息（遅延利息を含む。）相当額並びに補償履行日までの利息） 千円	債務負担行為（元金2,100,000千円及びこれに対する利息（遅延利息を含む。）相当額並びに補償履行日までの利息） 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	しなの鉄道設備投資資金借入金損失補償	直接	しなの鉄道の設備投資資金借入金の金利負担を軽減するため、県が損失補償を行う。
2	しなの鉄道運転資金借入金損失補償	直接	しなの鉄道の運転資金借入金の金利負担を軽減するため、県が損失補償を行う。

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
4	地域鉄道安全運行支援事業費		-	98,245
			千円	千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	地域鉄道安全運行支援事業	補助金	安全な鉄道輸送の確保及び県民生活の維持及び感染拡大（減便による三密）防止を図るため、地域鉄道事業者が行う安全性の向上に資する設備の維持修繕等に対して補助を実施 補助対象事業者：長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株) 補助額：98,245千円	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
5	被災地域鉄道代替輸送支援事業費		52,890	45,488
			千円	千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	被災地域鉄道代替輸送支援事業	補助金	令和元年東日本台風の影響により不通となった鉄道区間における代替輸送バスの運行に係る経費に対して補助を実施 補助対象事業者：上田バス(株) 補助額：45,488千円	